

# 平成 30 年仕事納め式訓示

(本庁・船泊支所)

平成 30 年 12 月 28 日

今日は、平成 30 年の仕事納めの日であります。ただ今退職の辞令交付を行ないましたように、葛西さんは平成 27 年 4 月から約 4 年間にわたって議会事務局に勤務していただきました。礼文の出身ではありませんが、誠心誠意その務めを果たしていただきましたことに、心から感謝し、これまでの勤務を<sup>ねぎらい</sup>労りたいと思います。礼文島を離れられましても健康にお過ごしいただきますようお祈りしています。

さて、あらためまして、仕事納めのあいさつをいたします。今年 1 年の中で私が出張で役場にいなかった日にちは 125 日ありました。12 月には台湾で利礼三町では始めて観光プロモーションを実施させていただきました。125 日と云いますと 4 カ月になるわけではありますが、平日は 1 週間に 5 日×52 週=260 日 祝祭日が 15 日ありますからこれを差し引きますと勤務する日は、およそ 245 日になります。したがって勤務を要する日の半分以上が出張不在となっているわけではありますが、その間、武田副町長を先頭にして、しっかりと町政を進めていただいたことに感謝しています。

また、一年間、地方創生総合戦略を力強く押し進めることができましたこと、職員皆様のご協力とご支援にあらためて心から感謝を申し上げますところでございます。

暮れの18日に開かれまして総合戦略の審議会でも、審議委員の皆様から大きな評価をいただき抱き、来年度もさらに前向きな事業展開をせよとの心強い方針が決まりました。

したがって、来年も、「地方創生」を進めていくわけですが、すぐに効果の見えない難しい取り組みの中で、常に総合戦略に改善と反省を加えながら、進めていただくことになります。

加えて、来年は総合戦略第一期の最後の年になりますので、審議会での評価を新年度の事業に反映させていただきますように、あらためて、お願い申し上げます次第であります。

先日「北海道経済」という道内の経済を分析する月刊誌がありますが、その11月号に自治体を人口規模だけでなく、所得の状況からみるとどうなるか？ という記事が載っていました。

面白そうだなと思って読んでいくと、総務省が毎年まとめている「平均課税対象所得」というデータがあるそうです。

各個人の市町村民税の所得割の課税対象となった前年の所得金額を課税対象者の人数で割った平均の所得金額のことです。この数字から、自治体別にみた収入の状況、多い少ないがわかるというものです。

2017年のデータによれば、全国1741の自治体の中で1位は東京都港区でその額は1115万円、2位は同じく東京都の千代田区で944万円。こちらも順当だと思います。

しかし3位に入ったのが北海道宗谷管内の猿払村で金額は813万円。全国の著名な「金持ち自治体」と云われる東京都渋谷区、世田谷区、中野区、文京区、兵庫県芦屋市などを抑えての堂々全国第3位であります。

わが礼文町は…と云いますと全道9位、全国では112番目の358万6千円です。

農業や漁業など第一次産業を主力とする地域は所得がしっかりしているとよく云われますが、漁業がしっかりしているわが町も、道内の市町村の中ではしっかり健闘していると考えています。

地方創生もそうでありますように、自治体の規模は大方人口規模で決められますが、この「平均課税対象所得」というデータは、自治体ごとの個人所得がどうかということを表していますので、その町の稼ぐ力を表しているそうです。

わが町では 70 歳 80 歳のお年寄りが生涯現役で、うにを採り、こんぶを獲っています。

皆さん本当に健康で元気に働いています。

このデータを見て、私は、私たちの仕事は「町民の幸せづくり」なんだと思いました。

「健康づくり或いは元気に働ける環境づくり」と言い換えることができると思います。

町民の皆さんが明るく元気に働けるようにするにはどうしたらいいか… 職員の皆さんには、このことをもっともっと考えてほしいと思っています。

最後になりますが、政府は 12 月の月例経済報告で「2012 年 12 月から始まった今の景気回復が今月で 73 カ月を迎え、高度成長期、東京五輪翌年の 1965 年 11 月から大阪万博が開かれた 1970 年 7 月まで 4 年 9 カ月続いた「いざなぎ景気」を超え、さらに 2002 年 2 月から 2008 年 2 月までの 6 年 1 カ月戦後最長の「いざなみ景気」に並び、このまま年を越すと戦後最長の景気回復を更新すると発表しました。

給料の上りが少なく、低成長で実感は少ないと感じられる方もいらっしゃるかも知れませんが、米中の貿易摩擦、或いはヨーロッパではイギリスの EU 離脱の混乱等による世界経済の原則が懸念されますが、私は、来年の<sup>いとし</sup>亥年は、ようやく景気回復が実感できると、大きな期待をこめ、希望を持って迎えようと思っています。

皆さんも、明るい気持ちで新年を迎えていただきたいと思っています。

そして、来たる新しい年に向かって、「町民の皆さんがもっと明るく元気に働けるようにするにはどうしたらいいか

…」このことを考え、そして、しっかりと鋭気を養っていた  
だきたいと願っています。

あらためて今年一年のご支援ご協力に心から感謝を申し  
上げ、仕事納めの訓示といたします。

本当にありがとうございました。